

2015年11月19日配信

報道関係者各位

コニャックの王「ルイ 13 世」が  
**‘100 YEARS: THE MOVIE YOU WILL NEVER SEE’**プロジェクトを発表  
西暦 2115 年にオリジナルフィルムをリリース

ジョン・マルコヴィッチが究極の時間にインスパイアされた革新的な映画プロジェクトに主演



2015年11月19日、アメリカ・ロサンゼルスにて、世界で最もラグジュアリーなスピリッツとしても名高い、コニャックの王「ルイ 13 世」が、ジョン・マルコヴィッチ主演のオリジナル映画を発表しました。100年後の地球をイメージした映画‘100 YEARS’は、100年後の2115年に公開されます。

監督ロバート・ロドリゲス、‘100 YEARS: THE MOVIE YOU WILL NEVER SEE (見ることのない映画)’は、「ルイ 13 世」1本のデキャンタが完成するために必要な、100年にもおよぶ類まれなるクラフツマンシップや時間との闘いにインスパイアされた作品です。100年後の2115年11月18日の正式公開まで、フィルムは100年後の公開当日に自動的に開錠される最先端の金庫内で厳重に保管されます。エクスクルーシヴな招待状を受け取る世界各国の1,000名のゲストは、2115年11月18日、フランス・コニャック地方にある、メゾン LOUIS XIIIにて上映される‘100 YEARS’プレミアに参加するために、彼らの子孫に金属製の招待状を譲り渡すこととなります。

## ‘THE MOVIE YOU WILL NEVER SEE’ 一見することのない映画

なぜコニャックの「ルイ 13 世」が 100 年後に公開される映画を制作したか？という問いに、「ルイ 13 世」のグローバルエグゼクティブ ディレクターのルドヴィック・ドゥ・プレスリスはこう答えます。「ルイ 13 世とはまさに究極の時間の証であり、過去・現在・未来のダイナミックな関係性を主体的なアートとして作り上げたいという思いがありました。4 世代にわたるセラーマスターはルイ 13 世のボトルに自身の人生と情熱を注ぎますが、完成する傑作を自ら味わうことはありません。我々はこの芸術的な試みに才能溢れる俳優とクリエイティビティに富む映画会社が共鳴し、我々のプロジェクトに加わることに興奮しています」

フランスをこよなく愛し、示唆に富む作品作りでは右に出る者がいないジョン・マルコヴィッチ氏は、’100 YEARS’のため脚本を書き下ろしました。衣装デザイナーにニナ・プロクター氏を迎え、マルコヴィッチ氏のパートナーとしてシュヤ・チャンがキャスティングされて、革新的なセットデザインと大掛かりな CGI 効果により、未知の未来への旅が生まれました。

ジョン・マルコヴィッチ氏は、「最初からこのアイデアをとっても気に入っています。ある意味、自分が手がける全ての映画が 100 年後にしか公開されなければ良いな、とも思います。そうする事でどれだけの影響があるのかは分かりませんが」と語っています。

「ルイ 13 世」のデキャンタが完成するまでに驚くべきクラフツマンシップの継承が必要であること、そしてセラーマスターらが自身の作品を一度も味わうことがないという事実は、映画’100 YEARS’のクリエイティブディレクションにも通じます。それは「100 年後の未来がどのようになっているのか」という興味深いコンセプトを探求する、ということです。歴代のセラーマスターがその生涯で一度も味わうことがない「ルイ 13 世」の創作に人生を捧げるように、’100 YEARS’のキャストやクルーも、本編の最終カットを一度も見ることはないのです。



## 2115: An Unknown Future —2115 年、未知の未来

この革新的な映画の本編は、2115 年まで公開されませんが、3 本の予告編が作られ、100 年後の地球はどうなっているかという仮想の情景が描かれています。全ての予告編は同じセリフと俳優で始まりますが、全て異なる未来を描写しています。

1 本目は 100 年後、自然に支配された地球。2115 年、地球は化学兵器による戦争によって荒廃し、自然に支配される環境になったと想定して描かれます。2 本目は、地球の超都市化とテクノロジーが進化を遂げ、地球外探査も進むほどテクノロジーにより支配された暗黒の世界。そして、3 本目は、人型ロボット(ヒューマノイド)に支配され、それから逃げ回る人間を描写しています。見る側にとってはどの未来が 100 年後の現実にも近いかを考えさせられる映画となっています。予告編に加え、メイキング映像と本編からのコンテンツを垣間見ることのできる映像をご用意しました。

‘100 YEARS’のフィルムは、1825 年創業の著名なフランスのセキュリティ会社、Fichet-Bauche とパートナーシップを組み、厳重に保管されます(Fichet-Bauche は、セキュリティ製品やサービスにおいて世界的にもリーダーである Gunnebo Group が運営しています)。カスタムメイドの金庫は目を見張るデザインで、防弾ガラスを使用しており、100 年の時間を記録し、カウントダウンできる最新式のタイマーが付いています。この金庫はカウントダウンが終わる 100 年後の 2115 年 11 月 18 日まで開く事はありません。世界初のラグジュアリーな金庫は、暗証番号または鍵で開くことはなく、また 100 年後電力が無い状況下でも、その時を迎えたときに自動的に開きます。つまり、2115 年以前にフィルムに触れることは不可能といえます。

2015 年 11 月 18 日(水)、アメリカ・ロサンジェルス Sheats Goldstein Mansion にて‘100 YEARS’予告編の限定プレビューが催されました。イベントの最中、「ルイ 13 世」関係者とジョン・マルコヴィッチ氏は‘100 YEARS’のフィルムリールを厳かにカスタムメイドの金庫の中に収め、タイマーをオフィシャルプレミアが行われる 2115 年 11 月 18 日にセットしました。この‘100 YEARS’のフィルムリールが収められた金庫は、12 月 11 日、最高のセキュリティの下に香港から始まる世界的なキャラバンツアーを経て、最終目的地のフランス・コニャック地方、Maison Louis XIII に届けられます。100 年の時を経て、ついに金庫が開く 2115 年 11 月 18 日、未来の「ルイ 13 世」のセラーマスターや 2015 年のプレビューの招待状を持つ各国のゲストの子孫を含む方々が、フランス・コニャック地方のドメヌ・デュ・グロレで実施される‘100 YEARS’本編のプレミア上映に招待されます。

‘100 YEARS: THE MOVIE YOU WILL NEVER SEE’プロジェクトは本日始まったばかりですが、<http://www.louisxiii-cognac.com/>にて予告編やティーザーを視聴いただけます。また、以下のルイ 13 世オフィシャルソーシャルメディアアカウントにも随時情報を発信しております。各 SNS アカウントにて、全世界の視聴者からハッシュタグをつけたコメントをご覧ください。

Instagram: @LOUISXIIICOGNAC\_USA

([https://instagram.com/louisxiiicognac\\_usa/](https://instagram.com/louisxiiicognac_usa/))

Facebook: LOUISXIII

(<https://www.facebook.com/LOUISXIII>)

Twitter: @CognacLouisXIII #notcomingsoon

(<https://twitter.com/cognacloisxiii>)



  
**LOUIS XIII**  
*Remy de Martin*  
GRANDE CHAMPAGNE COGNAC

**クレジット**

**監督:** Robert Rodriguez    ロバート・ロドリゲス  
**助監督:** Brian Bettwy    ブライアン・ベトウェー  
**撮影監督:** Claudio Miranda    クラウディオ・ミランダ  
**主演:** John Malkovich    ジョン・マルコヴィッチ  
**ヒロイン:** Shuya Chang    シュヤ・チャン  
**悪役:** Marko Zaror    マルコ・サロール

**制作**

**プロデューサー:** Karim Naceur    カリム・ナスール  
**制作会社:** Moonwalk Films    ムーンウォーク フィルムズ  
**エグゼクティブプロデューサー:** Gaspard Chevance    ギヤスパール・シェヴァンス  
**編集:** Robert Rodriguez & Rémy Rodriguez    ロバート・ロドリゲス、レミー・ロドリゲス

**美術部門**

**プロダクトデザイナー:** Steve Joyner    スティーブ・ジョナー  
**コスチュームデザイナー:** Nina Proctor    ニナ・プロクター  
**メイクアップアーティスト:** Trefor Proud    トレフォーール・プラウド

**VFX**

**VFX 会社:** Mikros Image    マイクロイメージ社

**音声**

**サウンドプロダクション:** Kouz Production    Kouz プロダクション  
**サウンドスーパーバイザー:** Leo Copet    レオ・コペ

**「ルイ 13 世」について**

1874 年に誕生したコニャックの王「ルイ 13 世」。完成までに 4 世代にわたるセラーマスターらのクラフツマンシップと、100 年以上もの時間が必要です。美しい風景と石灰質の土壌に恵まれたフランス・コニャック地方の特級畑、グランド・シャンパーニュ地区で収穫された最高の葡萄のみを使用し、40 年から 100 年の熟成期間を経て、1,200 種類ものオー・ド・ヴィーがブレンドされて創られるコニャックの最高傑作。類稀なるブレンディング、長期熟成がもたらす蜂蜜、プラム、樹皮、パッションフルーツなどの味わい。「ルイ 13 世」は、究極の時間そのものを表現しているコニャックです。容量 700ml、度数 40%、希望小売価格 250,000 円(税別)。



**本件に関するお問い合わせ先**

レミー コアントロー ジャパン 株式会社    マーケティング部    PR 担当    溝口  
03-6441-3025    Mobile: 080-9156-8844  
[tomoko.mizoguchi@remyasia.com](mailto:tomoko.mizoguchi@remyasia.com)

コミュニオン 株式会社    山内  
Mobile: 080-4126-2356  
[a.yamauchi@communion.co.jp](mailto:a.yamauchi@communion.co.jp)